

【第 40 回対策本部会議】 9 月 11 日

健康福祉部長／今月の感染者数は、1 日から 0、2、0、0、1、0、1、1、0、1 と少ない数で推移し、落ち着いている。

スクリーンは、7 月 20 日からの 1 週間ごとの感染者数。最大 59 人を頂点に、その後は減少し、第 2 波は収まってきた。

昨日現在、入院者が 6 人、ホテル療養者は 0 人で、医療機関の負担も減っている。プロジェクト M の病床運用であるコロナ M シフトを、現在のフェーズ 3 から引き下げる方向で、関係医療機関と調整を行っている。

教育長／令和 3 年度の県立学校の高校入試の出題範囲は、8 月までの授業の進捗状況を見て判断することにしてきた。8 月末に県内全ての市町立中学校及び義務教育学校の進捗状況を調査したところ、例年どおりだと分かった。

来年度の高校入試の出題範囲は例年どおりと、本日付で各関係機関に通知する。

産業労働部長／地域経済の状況は、業種によってさまざま。売上げが上がったところもあるが、今日は厳しいところを報告する。

ホテル・旅館関係は、8 月の客室稼働率が平日で 3、4 割。休前日は 6、7 割。9 月の 4 連休は、予約が入っているが、それ以外は空きがある厳しい状況。特に、団体客型の旅館・ホテルが苦戦している。

飲食店は、7 月の下旬からの落ち込みが 4、5 月よりもひどい。売上げが、対前年同月比で半分以下が続いている。自粛ムードが払拭されないものかと経営者から聞く。

昨日、佐賀県飲食業生活衛生同業組合の理事長が、知事に緊急要望を提出。吉田理事長が取りまとめたものを紹介する。

- 客が 0 人、1 組の日が結構ある。
- 大阪で 5 人以上の宴会、飲み会を控えるよう報道があったとき、5 人以上の予約がキャンセルになった。佐賀は違うのに。今でも 2、3 人の客しか来ない。
- 別の店では 4 月は 4 割、5 月は 5 割、6 月は 7 割、7 月は昨年並みに持ち直したが、8 月は 4 割落ち込んだ。

- スナック関係は、売上げが2割ほど。

理事長も12月までに廃業する店がたくさん出るのではと危惧している。

- 会社や職場で、宴会や会食が禁止になっている。

企業は、リスクを回避する必要があるだろうが、佐賀県は感染が落ち着いているので、地域のお店を支える「支え愛」に協力してほしい。

先日、商工会議所や中央会など商工団体にお問い合わせに出向いた。早速、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会の3団体で、「チェンジ・ザ・ムード」と銘打って、会食、会合の開催をリレー方式で企業につなぎ広げるプロジェクトをスタートしてもらった。心から感謝する。

多くの飲食店は、感染防止対策をとっているため、県民の皆様も利用をお願いしたい。

観光課長／これから観光シーズンに入る。ぜひ、佐賀の観光地を回り宿泊してほしい。

10月1日からGO TO トラベルの地域共通クーポン券が発行される。これは、旅行代金の15%がクーポン券として発行されるもの。例えば、1人2万円の旅行商品の場合、15%である3,000円が地域共通クーポン券として還元される。佐賀県は、「支え愛」平日宿泊キャンペーンで、さらに4,000円相当の県産品が、2分の1の確立でプレゼントされる。

地域共通クーポン券は、お土産屋さん、お昼の飲食店、観光施設、オープンエアの体験メニュー、ガソリン代で利用が可能に。

手に入れる方法は、JTBや日本旅行などの旅行代理店では紙クーポンで発行される。楽天やじゃらんなどの旅行ネットは、電子クーポンでも受け取れる。また、プリントアウトすると紙クーポンで発行できる。

佐賀県内の利用店舗はエントリー中。今後、Go To トラベルの公式ホームページで公表予定。このページで検索すると、35%の割引のホテルや地域クーポンが利用できる店舗が一覧で出てくる。地域クーポンの取扱店舗には、目印のステッカーが貼られる。

10月1日からの宿泊に適用され、予約はそれ以前にできる。

宿泊だけでなく、旅行会社の日帰りツアーでも地域クーポン券がついてくる。

産業政策課長／Go To Eat キャンペーンは、1万円で12,500円分の食事が可能な食事券。全国統一で「75億円60万セット」発行できる。現在、33の都道府県が国に選定されている。

このキャンペーンは、平等に 75 億円だから、佐賀県なら 1 世帯 2 セットの計算。十分に販売量があるので、安心して買ってほしい。

10 月に加盟店募集を開始し、11 月から販売開始。また、オンライン飲食予約事業も利用し、県内の飲食店を応援してほしい。

産業政策課長／今年 5 月に第 1 弾を実施したナイトテラスチャレンジは、90%以上の方から高い評価をいただいた。

第 2 弾はエリアを拡大。期間は 9 月 18 日から 10 月 1 日。最終日の 10 月 1 日は、日本酒の日。佐賀のお酒で秋のオープンエアを楽しんでほしい。

第 3 弾は、独自のモバイルオーダーシステムにチャレンジする予定。これは、屋外でモバイルを使って、各店舗にオーダーしオープンテラスに商品を持ってきてもらうシステム。10 月 24 日から 11 月 15 日。ライトファンタジーも楽しみながらオープンエアを楽しんでほしい。

いずれも 6 時半から 22 時まで。

エリアは、佐賀駅前交番西交差点から中央郵便局前までに拡大。今回の参加店舗数は、20 店舗を見込んでいる。現在、佐賀市、地元の商店街、自治会と協力しながら、最終の準備を進めている。進化を続けるナイトテラスにご期待ください。

知事／第 40 回の対策本部会議。私たちは、240 例以上の症例を見てきた実績がある。今は間違いなく支え愛活動局面。福岡も落ち着いた数字が推移している。ホテル入院関係も 1 桁にとどまっている。

一方で、県内の旅行、観光、ホテル、交通、飲食業の皆さん方は厳しい状況。県庁は、飲み会を禁止していない。企業の皆さんも、ぜひ「支え愛」をしてほしい。仮に感染が発生しても、しっかりと対応する。慈しみの県としてお互いを支え合っていきたい。

Go To トラベルは、いよいよ東京も対象になり、心配や懸念を覚える。都市圏の皆さん方は、対策をしてキャンペーンに参加してほしい。

Go To Eat は、地域単位で仕事ができることになった。政府の判断を評価したい。しかも、各県単位に同じ 75 億円。1 万円で 1 万 2,500 円分のチケットがあり、それが 60 万セット配布される。計算すると 75 億円。

佐賀県の人口から計算すると、お子さんを除けばほぼ全員に行き渡る形。これまでの市町のチケット方式では足りないこともあった。今回は 60 万セットだから、皆さんのご要望に応えられるだろう。

これからはウイズコロナの時代。SAGA ナイトテラスチャレンジに呼応して、全国でも同様の取り組みがなされている。ナイトテラスチャレンジの聖地として、これからもチャレンジを続けたい。

昨日、料飲組合の悲痛な声があった。佐賀らしい「支え愛」で支援していきたい。

県は、さまざまなことを想定しないといけない。うまく収束のほうに向かう場合、逆の場合にも準備をしている。皆さんと一緒に考えながら、この難局を乗り切っていきたい。